



シュンデンタルタイムズ

9

2023

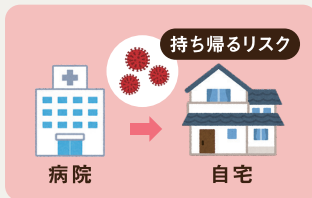
当院が医療法人化してから、丸2年が経とうとしています。

「もう2年？ いやまだ2年？」という色んな思いがありますが、今回は少し趣向を変えて、当院の労働環境について皆さまにご説明したいと思います。

日本全体の働き手の不足や、最低賃金の値上がりなどコロナ化における、我が国の労働環境は大きな転換期を迎えています。皆さまやご家族のお勤め先はいかがでしょうか？

医療機関の労働環境

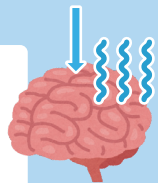
新型コロナウイルスが発生・蔓延した際には、**#医療従事者に感謝**などと日本全体が、医療従事者への感謝を伝えようという風潮になりました。医科・歯科に限らず医療業界全体がブラック労働に近いというのは**病気と闘う**という部分が原因としてあるかと思えます。



病気は、昼夜・曜日に関係なく人間が生きている以上発生するもので、それに対応しないといけない医療従事者は、**長時間労働や休暇が取れない**といった状況に陥りやすいわけです。また、針刺事故や感染症が発生した場合に、**自身の家に感染症を持ち帰ってしまう**ことなども医療従事者ならではのリスク要因です。

長時間労働が及ぼす問題

長時間労働が、医療にもたらす負の要因は、第一に「**事故**」です。体の疲れて、集中力が持続しない時は正しい医療行為が行えなくなってしまうというリスク要因となります。



第二に「**離職**」です。定着率が低いと技術の流失・損失や、チームワークの再整備が必要になりますので、院内全体のスキルダウンにつながってしまいます。新たに人材を確保し、育成していく時間も必要です。



労働環境を整えることは、患者さまのためになる

「令和4年度 就労条件総合調査(厚生労働省)」によると我が国の企業における平均休日数は以下のようになっています。

1企業平均年間休日数の分布				1企業あたりの平均年間休日数
69日以下 4.3%	70～79日 3.1%	80～89日 4.7%	90～99日 6.6%	107.0日
100～109日 29.6%	110～119日 20.6%	120～129日 30.2%	130日以上 1.0%	1労働者あたりの平均年間休日数 115.3日

シュンデンタルクリニックの労働環境

- 直近1年間の休日数125日(有給・看護休暇を除く)
- 勤務間インターバル12時間以上
- 法定労働時間の遵守(変形労働時間制)
- 有給休暇の消化率100%可能
- 子の看護休暇
- 1分単位の残業代支給
- 19時以降の診療後手当の別途支給
- 提携保育園完備
- 他

上記の環境を整え、長く働くことになった場合は対価を支払い、休みもしっかり取れるような整備を行っています。今年は、130日の休日数を確保できるように、現在、環境整備しているところです。



スタッフがしっかり休み、しっかりリフレッシュすること

プライベートと仕事を両立してもらうことは、事故を回避し、定着率を安定させ、新しい医療設備・材料を導入したりすることと同様、患者さまに最適な医療サービスを提供する観点で必要不可欠なものと考えています。

医療人として、「寸暇を惜しんで勉強し技術を磨け」という先生もいらっしゃると思います。しかし、学ぶのは、経営者であり施術者である院長やスタッフの代表者で良いと考えています。学んだことをしっかり他のスタッフに落とし込み、共有することで、シュンデンタルクリニックの型にカスタマイズされ、先進技術や新しい知識として、誰もが高いレベルで患者さまと向き合えます。

そういう医院を今後も私たちは目指していきたいと思っています。

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>